

議事録サマリー

作成日：平成 17 年 2 月 21 日（月）

作成者：小澤富士男（ITCA）

会議名称	IT 経営応援隊 第 5 回「IT 経営教科書作成委員会」	
開催日時	平成 17 年 2 月 21 日（月） 14：00～16：30	
開催場所	経済産業省	
出席者 （敬称略）	委員長	川内 晟宏（プロセス経営研究所代表 / IT コーディネータ）
	委員	<p>【欠席】内田 和成（ボストンコンサルティンググループ日本代表） 上村 孝樹（㈱日経 BP 主任編集員・中堅中小企業 IT 化支援プロジェクトリーダー）</p> <p>【欠席】菊地 俊延（イノバートストラテジー有限会社 代表取締役） 木村 玲美（ITC-METRO、浜松総務部有限会社） 桑山 義明（オープンコンサルティングプロジェクト代表） 下田 邦典（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 専務理事） 高梨 智弘（株式会社 日本総合研究所 理事 公認会計士 経済学博士）</p> <p>中村 和夫（㈱イー総研 代表取締役社長、IT コーディネータ、 中小企業診断士、TAMA 客員研究員） 伏見 真（株式会社名古屋ソフトウェアセンター 取締役企画部長） 松島 桂樹（武蔵大学経済学部教授（経営情報システム担当）） 弓崎 伸彦（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 事務局） （五十音順）</p>
	経済産業省	<p>野口 正（商務情報政策局 情報化人材室 室長） 【欠席】河野 太志（商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐） 中川 欣司（商務情報政策局 情報処理振興課 係長） 青田 優子（商務情報政策局 情報処理振興課）</p>
	中小企業庁	鶴田 雅文（中小企業庁技術課 企画官）

議事進行	松下 正夫（特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 事務局）	
配布資料	資料 1	IT 経営応援隊（中小企業の経営改革を IT の活用で応援する委員会） 第 5 回 IT 経営教科書作成委員会 議事次第
	資料 2	IT 経営応援隊 IT 経営教科書作成委員会 委員名簿
	資料 3	座席図
	資料 4	「IT 経営教科書委員会」の 16 年度活動成果物並びに提言について
	資料 5	経営者向け教科書の全体構成
	資料 6	経営者向け教科書 v 0 . 4 3 k
	資料 7	経営問題解決のための具体的な IT 活用策（事例一覧）
	資料 8	事例（10 件）

議事録サマリー

議事概要

1. 開会 14:00

2. 委員長挨拶 14:00

川内委員長より

教科書作成委員会の本年度のまとめとして、本日、下記の点も踏まえて、第5回の教科書作成委員会とする。

1. 本年度のアウトプットを明確にする。
2. 来年度に向けて何を行うかを明確にする。

3. 「IT経営教科書作成委員会」の16年度活動成果物ならびに提言について【資料4】

H16年度の成果物の確認が行われ、「経営者向け教科書 版（場面や利用方法を考慮して形を変えていく教科書の素材となるもの）」となった。

また、パンフレット、支援マニュアルについては、IPAへの納品物として提出することとなった。（パンフレットは教科書 版（素材）の加工のひとつの形となる）

パンフレット及び本格的な印刷物については、専門家を入れて次年度で作成していく。

成果物並びに提言に対するご意見は、下記のとおり。

- ・現場での利用について、 版としてはどのような使い方になるのか。

ホームページ上にアップし、利用者はダウンロードして利用する（ 版と明記）

- ・PDFではなく、Word文書で行ってはどうか。

直接営利に使われる場合には制限があるので、検討が必要である。（契約上の縛りがあるかもしれないので確認が必要である）

- ・公開については、いつぐらいなのか。

H17年4月以降、速やかに行う。

4. 経営者向け教科書（ 版）の全体構成および経営者向け教科書（ 版）の審議【資料5、6】

経営者向け教科書（ 版）の全体構成及び内容について審議が行われた。

委員長より経営者向け教科書（ 版）の全体構成について、Sectionの意味やIT経営百選との接点について説明が行われ、各委員から経営者向け教科書（ 版）の内容について、質疑が行われた。主な内容は下記の通り。

- ・対象読者は

中小企業経営者。

- ・パンフレットとはどのような関係になるか

パンフレットは、これを素材として次年度に作成する。

- ・パンフレットは早急に必要になるのではないか

地域の状況に応じて、 版から作ってもらうことを考えている。情振課と地方の打合せで進めて行く。

議事録サマリー

- ・教科書の内容が総論的であり、どこを重点としているか見えにくいのではないか。

森羅万象を網羅しているわけではなく、経営者のモードごとに入り口を変えている。この教科書を、全部経営者に読んでもらうということではなく、チェックシートで選んだ部分を読めるように考えている。この中から最優先として、取り組むべき経営課題に気づいてもらうことを最優先としていきたい。

- ・IT 経営をすることが前提になって、HowTo から入っている。その前の段階が必要ではないか。
HowTo の前の段階のために、Section3 経営環境編を用意している。

- ・本教科書はどのような視点で作られているか。

IT コーディネータのプロセスガイドラインの視点でまとめている。外部環境、内部環境のSWOT 分析から経営課題、経営ビジョンを導き出す手順である。

- ・会社をどうする？業務をどうするに的を絞って、内容を記入してはどうか。その時点の気づきは重要であると思う。新たなマーケットとしてネットを気づき、魅力的な会社を作るためのツールとして IT があることに気づくことが重要である。

パンフレットに本意見をまとめる形で考える。素材集として、全体を網羅しているので、使い方を考え、どういった人たちに伝えていくかによって、パンフレットに落としていく形で利用して行きたい。

- ・新しい経営理念を持つための気づきの部分はどこにあるのか？外部環境がどうなっているかをどのように気づいてもらうか、内部環境がどうなっているかを気づいてもらうための視点を、記入すべきではないか。

そのような主旨で、作っている。Section 4 経営戦略編で述べている。

- ・外部環境のいくつかの事例を提示してもらいたい。ブレイクダウンした視点を出してもらいたい。
中小企業の経営者にとって、重要なのは企業が生き残れるか否かであると思う。Section3 には外部環境をブレイクダウンした事例をその趣旨で記入してある。

- ・一覧性のある図に、各 Section との紐付けが分かるようにできないか。

Section 4 の冒頭の図に、気づきからの一連の流れを記している。ここへ関連項目が分かるように追記する。

- ・政府調達電子入札になっており、新しいビジネスに対応しないとだめだという視点を、危機感として訴えて欲しい。

顧客の変化を「3-1-1 経営環境の変化」で記入している。政府の電子調達についてもこの中で触れている。

上記のように、表現についての意見が多々あり、この提言は教科書最終版に反映していきたいとのまとめが、委員長よりあった。また、教科書内容の骨子については、全委員の了解が得られた。また、今後の修正については、委員長に一任された。

議事録サマリー

5．事例について【資料7、8】 16:20～16:30

事務局松下より、一覧での整理の仕方と、事例の記入内容について説明があった。

6．閉会 16：30

本委員会で 版の見通しをつけることが出来たとの挨拶が委員長よりあった。

以 上